ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

シートNO.

ボーリング名	B-4(測点No.16斜面下部)	調査位置						北　緯	36 ° 22 ' 26.6000 "
発 注 機 関	栃木県足利土木事務所　整備部			調査期間	2009-07-06 ～ 2009-07-07			東　経	139 ° 28 ' 10.7800 "
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	83.92 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90° 30.00 °	使用機種	
総 掘 進 長	3.08 m								

試 錐 機		ハンマー落下用具	
エンジン		ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1	82.57	1.20	1.35		礫混じりシルト (M-G) 礫混じり粘土 (CH-G)	暗茶 暗茶		軟らかい	崩積土 径φ10～30mmの角礫混入 草根多い 礫は風化礫主体 礫は径φ10～50mm程度で所々に混入 含水比中位　粘性中～上位		
2					砂岩 (Ss)	暗灰褐		非常に硬い	砂岩の弱風化部 全体的に弱風化しやや褐色を帯びている コアは全体的に密着し割れ目多い 岩片はやや脆弱 コア形状は片状主体で部分的に割れ目風化著しく礫状 割れ目は風化し褐色を呈す 割れ目は斜状が主体で3～5cm間隔 コア採取率100% RQD0% 岩級区分「CL～CM」程度と判定		
3	80.84	1.73	3.08								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	8	42		50／20	>50
1.35	50／9			50／9	>50
2.00					
2.09	50／8			50／8	>50
3.00					
3.08					

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						07/07